ゴールドメディア

ひまわりたより

財団法人脳神経疾患研究所

●介護老人保健施設ゴールドメディア　●南東北訪問看護ステーションゴールドメディア
●居宅介護支援事業所ゴールドメディア
E-mail：gm@mt.strins.or.jp　ホームページ http://www.minamitohoku.or.jp

もくじ

▶２面＝ＧＭで節分、栄養科だより「２月の行事食」
▶３面＝スタッフ紹介、２Ｆだより、今後の行事予定
▶４面＝通所リハビリだより、ワンポイントリハ、編集後記

誕生祝賀会

2月3日にゴールドメディア館内での豆まきが行われました。鬼に扮した2人の職員がホール内を駆け回り、その鬼に向かい利用者さんが豆を投げ、「鬼に当てる事が出来た。」と喜ぶ方もいれば、「当てる事が出来なかった。」と残念がる方もおり、館内は賑やかな雰囲気に包まれました。

その豆まき終了後に1階に入所されている利用者さんが2月20日で100歳を迎えるにあたり、少し早めの誕生祝賀会を開きました。百寿の衣を身にまとい、緊張した面持ちで登場すると、方々から歓声が湧き上がりました。滝田看護責任者より表彰状と色紙を受け取ると、涙ぐむ姿が見られ、もらい泣きをしてしまう利用者さんもおり、改めてこういう場に立ち会えた事を嬉しく思います。その後、用意していた手作りのくす玉を、主役の本人に引いてもらい見事大成功。くす玉にアクシデントはつきものですが、そんな不安も吹き飛ぶ様な拍手が起こりました。

これからも利用者の皆さんが楽しく施設生活を送れるよう、レクリエーションや行事を企画していきます。

GM 節分

節分の日は2月3日です。節分の日にちなみ、当施設では2月5日に鬼に扮した職員が登場し豆まきを行いました。

節分とは、本来節（季節）のわかれめの日のことで、もともとは立春・立夏・立秋・立冬の前日はすべて節分といわれていたそうです。現在のように立春の前日だけをさすようになったのは、春の始まりを告げる立春は旧暦の新年にあたり、1年の初めということで重要な意味があり、節分といえば春の節分をさすようになったようです。節分には豆をまいて、邪気をはらい、1年の無病息災を願います。豆まきは一家の主人が煎った大豆をまき、家族は自分の歳の数だけ豆を食べると、その年は病気にならず長生きすると言われています。夜になったら家中の戸を開けて、「鬼は外」のかけ声で家の中から外へ豆をまき、「福は内」で家の中に豆をまきます。豆をまいたら福が出て行かないように早く戸を閉めましょう！なんてことも言われているようです。豆は炒った大豆を使いますが、落花生などを使う地方もあるようです。当施設でも落花生を使い豆まきを行いました。皆さん、鬼の登場に怖がることなく楽しそうに豆まきを行っていました。豆をまかずに、すぐに食べてしまう方もおり、笑顔がたくさん見られたひとときでした。「昔はやったね」と懐かしそうに話される方もおり、話に華が咲いたようです。15時のお茶の時間には、鬼を形どった生菓子が出され、「かわいいねぇ」との声が聞かれ、おいしそうに召し上がっていました。

今回の節分で豆まきを行ったことで、皆さんの笑顔がたくさん見られたことはもちろんのこと、季節を感じていただけた良い機会だったように思います。

今は、恵方巻が世に定着しています。太巻き寿司を一本丸ごと無言で丸かぶりして食べると、いい年になるといわれています。又、〝福茶〟といって、自分の年歳ほどたくさん豆を食べれない場合に年の数の豆に熱いお茶を注いで飲むとよいともいわれ、節分行事は様々な形で広まっているようです。当施設の利用者さんもご家族の皆様も、今年、一年元気にすごせますように…。

栄養科だより

2月の行事食

2月3日は、節分です。ゴールドメディアでも豆まきの他に、お料理でも節分を味わっていただこうと節分御膳をご用意しました。

献立は、

・豆ご飯
・とろろ昆布の吸物
・鰯の香梅揚げ
・五目あんかけ豆腐
・菜の花と紅ズワイの黄身酢がけ

でした。また、3時のおやつは鬼の顔の練りきりで、みんなでおいしく食べて鬼を退治しました。

スタッフ紹介

①血液型　③好きな言葉
②星　座　④趣　味
⑤みなさんに一言

滝田　貴義

①A型
②おひつじ座
③有言実行
④食べ歩き
⑤どうぞよろしくお願いします。

清水　典子

①B型
②てんびん座
③喜怒哀楽
④映画鑑賞
⑤皆さんの笑顔が、私の元気の元です。笑顔がいっぱい貰えるよう頑張りますので宜しくお願いいたします。

2Fだより

皆さん、こんにちは。2階の2グループです。2グループは、利用者さんが15名ぐらいいらっしゃいます。毎日、元気に生活しています。毎日の流れは、9時半くらいから全グループで集まって体操をしています。職員が声をかけたり、手を添えたりしながらリハビリに取り組んでいます。

10時には、ヤクルトやジュースをみんなで飲みながら談笑します。その後は、昼食まで1人1人に合ったリハビリ等を行っています。昼食後は、昼寝をされたり、テレビを見たりとゆっくりされながら過ごします。午後の2時くらいにみんなで集まり体操がはじまります。元気に日付けを確認したり、歌を歌ったりと眠気が吹き飛ぶようです。体操が終わると各グループに分かれてレクリエーションを行います。2グループでは、風船バレーやサッカー・お手玉投げ・渡しなどを行います。風船バレーでは普段なかなか自分から手を動かさない方も思わず手が出てしまうようです。お手玉も昔を思い出し懐かしいのか一生懸命取り組まれています。3時には待ちに待ったおやつが出ます。利用者さんも「今日はまんじゅうかなぁ?」と楽しみにしているようです。このように皆さん毎日元気にリハビリ等に励まれています。私達職員も利用者さんの笑顔や「ありがとう。」等の声を嬉しく思いながらお手伝いさせて頂いています。これかれも2グループを盛り上げていけるよう取り組んでいきたいと思います。2グループ共々どうぞよろしくお願い致します！

施設からのお知らせ

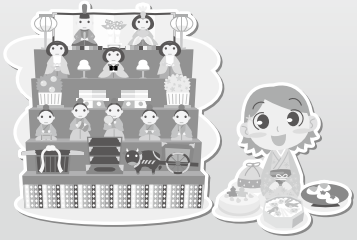
平成23年7月よりアナログ放送が終了し、地上デジタル放送が開始されます。これに伴い、施設でも居室のテレビの入れ替えを随時行っていく予定です。

また、居室に設置されています冷蔵庫の老朽化、利用者さんの栄養管理の徹底の為、併せて冷蔵庫の撤去もさせていただきます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

今後の行事予定

■3月

24日　天ぷらバイキング（1F）
25日　天ぷらバイキング（2F）



通リハだより

2月3日は「節分」。通所リハビリにも職員扮する赤鬼、青鬼がやって来て利用者の皆さんが手に持った落花生を鬼めがけ、「鬼は外」「福は内」と豆まきを行いました。

季節の変わり目にはよく身体をこわしたり、体調をくずしたりします。そこで邪気や悪気を持って来るという鬼を祓う信仰が生まれたようです。

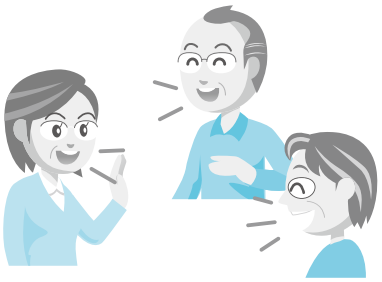
その後、通所リハビリでは「鬼といり豆」という絵本を大きなスクリーンショーで鑑賞し、豆まきの由来がわかりやすく紹介されました。

第2週のレクリエーションではゲームを楽しみました。今月のゲームは「よいしょ」と言うゲームです。向かい合わせに順番に並び、向かい側の人と手ぬぐいを広げて持ち、そこにお手玉等を隣の手ぬぐいを持っている2人に物を送っていくと言うゲームです。2人が物を落とさないようにと周りの人達も自然に「よいしょ」と応援したくなるので『よいしょ』と言うゲームの名前が付きました。最初はお手玉を送っていたのですが、皆さんだんだん上手になって来るので送る物がお手玉からティッシュの箱や水が入ったペットボトル、カゴ等に変わると利用者の皆さんは予想外の送り物に皆で笑いながら楽しくゲームを行いました。

昔から「笑いは百薬の長」「笑う門には福来たる」とかいいます。笑いの中には私たちの身体に良い影響を与えてくれていることが話題になっていますが諺から分かるように、それは昔から言い伝えられていたのです。さあ皆さん大いに笑いましょう!!

次回から、笑いについて連載していきます。

（引用：ヤマト情報館）



編集後記

2月も下旬になってきてだんだん春に近づいてきました。今月は節分があり、利用者の皆さんも豆まきを楽しめたようです。また、今月で百歳になる方もいらっしゃり利用者の皆さんでお祝いでき嬉しく思います。寒い季節もあと少しになり、暖かい春が待ち遠しいですね。まだ風邪などが流行しているようなので、体調管理には充分気をつけて下さい。毎日元気に、楽しく過ごしましょう。

ひまわりたより　2011年 3月号
■発行／財団法人　脳神経疾患研究所
ゴールドメディア　広報部
郡山市八山田七丁目 136
☎ 024（934）5530㈹
FAX 024（934）5536
■印刷／石井電算印刷株式会社

個人情報保護法施行により、紙面に掲載されている写真はご本人の承諾を得て掲載しております。